



ふれあいネットワーク

やえせ社協だより

49号

編集・発行 社会福祉人 八重瀬町社会福祉協議会

(本所)〒901-0401 八重瀬町字東風平1318-1 TEL.098-998-4000 FAX.098-998-8999
ホームページ: <http://www.yaeseshakyo.com/>

ホームページは [八重瀬町社会福祉協議会](http://www.yaeseshakyo.com/)

検索  クリック!



平成30年度「世名城自治会体験型防災訓練」を開催しました ～ 情報を活用し減災を考えよう～

去る1月20日(日)世名城グラウンド(馬場)において町役場・島尻消防組合消防本部・糸満警察署・町赤十字奉仕団の協力のもと「世名城自治会体験型防災訓練」を開催しました。

災害はいつどこにやってくるかわかりません。世名城自治会では、体験型防災訓練を通して住民が主体的に災害対策を考え、取り組むための方法を学びました。また、車いすやアイマスクの福祉体験(疑似体験)・防災訓練を通して地域で支援を必要としている方がいる現状を知り、支援方法等、当事者理解に繋げました。

イザという時...「地域の力」が求められます。当日は、本会職員が世名城の人口、高齢者数、障害者数などの現況をパネルで報告しました。日頃から住んでいる地域の状況を区民が把握し、日頃から備えることの大切さ、支え合うこと“孤立しない・させない・地域の力”の必要性について防災を通して学びました。

避難行動では、島尻消防組合消防本部・糸満警察署より「大きな災害では消防・警察・自衛隊などはすぐに駆け付けることはなかなかできない。そのため、住民同士の助け合いが重要になる」と講評があり、また多くの参加者が集まったことに「地域の方の意識の高さを感じました」と評価いただきました。

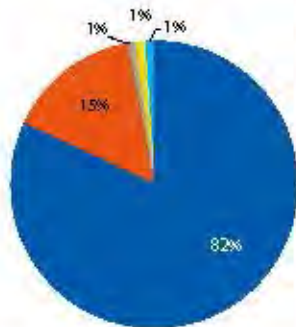


地域住民からのコメント

- ・初めて防災訓練に家族で参加しました。地域の方となかなか顔を合わせることができないのでこのような機会を設けてくれてありがとうございました。
- ・災害は自助すべきことだと考えを改められた。
- ・このような訓練は、繰り返し行うことが危機意識を高めるためには必要だと思います。
- ・足の不自由な母の避難をどうしたらいいのか考える機会になりました。

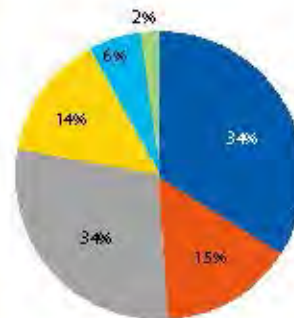
※2ページに続く

～世名城地域住民の意識調査を行いました(参加者アンケートより)～
アンケート結果から、世名城区民の近所付き合いに対する意識の高さが伺えます。



あなたは、近所づきあいについて必要だと思いますか

■ 必要だと思う
■ 必要だと思わない
■ 無回答
■ 必要だと思うがわかりがない
■ その他



あなたは、日ごろ隣近所の人との程度の付き合いがありますか

■ 相談したり、助け合う
■ 行き来するが立ち入ったことまでは関わりなし程度
■ 名前を知っており顔を合わせれば挨拶をする程度
■ 顔は知っており挨拶をする程度
■ ほとんど付き合いがない
■ 無回答

友寄第一団地防災講習会 名護市防災研修センターに行きました ～社会的孤立対策モデル事業の取り組み～

去る2月8日(金)友寄第一団地防災講習会を開催いたしました。本講習会は、住民主体による防災講習・体験を通して、住民一人ひとりの防災意識の向上、日頃から支え合い助け合える地域づくりの構築を目的に開催いたしました。

友寄第一団地ミニデイ参加者・社協職員総勢21名で参加し、車中にて、災害が起きた場合の対応など防災講話を行いながら防災研修センターに向かいました。防災研修センターでは、本会職員より友寄第一団地の年齢別人口・高齢化率・障害者数・要援護者数等の現況報告や、防災マップを活用し、ミニ講話を行いました。後半は防災研修センターの職員を講師に簡易地震体験・初期消火体験・水害時脱出体験等の体験型学習を行いました。

参加者の声

- ・第一団地にこんなに要援護者世帯があるとは思わなかった
- ・日頃からの防災意識や備えの大切さを学んだ。定期的に講習会を開催してほしい。



防災講習会を通して、自助・共助・公助や日頃の備えの大切さを学び、参加者一人ひとりの防災意識の高揚につながることができました。

3年間の学習成果を地域の皆さんへ

去る1月9日(水)に富盛公民館前広場において「レジャーテーブル贈呈式」を行いました。南部工業高等学校(宮城哲夫校長)機械科の生徒が作成したレジャーテーブル2台が、富盛自治会へ寄贈されました。平成30年度より本会では、「社会的孤立対策モデル事業」の指定を県社協から受け、八重瀬町内でモデル地区(9地区)を指定しました。その指定地区の中に同校の所在地でもある富盛自治会が含まれており、今回南部工業高等学校の社会貢献活動の一環として贈呈することが決定しました。

このレジャーテーブルは南部工業高等学校の生徒9名が「地域の方々へ貢献するためのものづくり」を研究課題として取りくんだもので、贈呈を受けた富盛の野原区長からは「生徒の皆さんの心のこもったレジャーテーブルをととても嬉しく思います。これからも地域貢献の心を育みながら成長してほしい」と生徒へエールを送りました。卒業を控え作品を制作した3年生の生徒からは「地域の方々に喜んでもらえることが本当にうれしい。卒業後も地域に協力できることは率先して取り組みたい」と話していました。同校の與那覇教頭先生と長濱教諭は「今後も地域のニーズを知り、生徒の知識と技術を生かした地域貢献活動を行っていきたい」と抱負の言葉を述べました。

学校と地域が繋がり、レジャーテーブルを活用して地域の人々が集う憩いの場が生まれ、相互に関わりを持ち助け合う地域社会を築くことにつながります。生徒の作品は富盛農村公園と八重瀬岳ハンタ公園に設置され大切に利用します。



社協役員(理事・監事)、評議員、職員の勉強会を開催しました

去る1月22日(火)と2月1日(金)に本会役員(理事・監事)と評議員、職員を対象に平成31年4月からスタートする新しい事業「日常生活自立支援事業」の勉強会を県社会福祉協議会の担当職員を招き実施いたしました。これまでは基幹的社協で対応してきましたが、全市町村へ移行するのに伴い開催されたものです。

参加者からは、他人の通帳を管理するとなると責任が重いのではないか等懸念する声がありましたが、社協の「専門員」と「生活支援員」が相談からサービスの提供にいたるまで支援いたします。

※日常生活自立支援事業とは・・・

福祉サービスの利用や支払いなどについて、自分の判断で適切に行うことが困難な方や日常生活において契約などの判断や金銭管理に不安のある方等が安心して暮らせるように社協がお手伝いする制度です。



平成30年度「障害者料理教室」を開催しました

去る1月8日(火)から3月5日(火)まで全8回コースにて「障害者料理教室」を開催しました。

講師に、町内在住の琉球料理講師・調理師・1級食育インストラクターの阿部綾乃氏をお招きしました。本教室は、「琉球料理」をテーマに沖縄の旬の素材を用いて仲間と作る料理の楽しさや素材のおいしさを引き出す調理方法を知ること、食育・地産地消の促進と社会参加につなげることを目的として実施しました。

初回はムーチャーとアーサ汁、琉球料理の基本である豚だし、鰹だしの取り方を教わりました。受講生からは「家で作る豚だしの取り方と違う。勉強になる。」「豆腐の切り方ってこんな小さく切るのですね。」等、先生の話や手さばきに興味と感心の連続で、毎回の料理教室を楽しみに参加していました。

昨今、ライフスタイルの変化に伴い琉球料理離れが進むなかで、改めて沖縄の伝統的な食文化である「琉球料理」の食材選びから調理法、風俗習慣など学ぶことが出来る大変貴重な体験となりました。受講生の皆さん、最後までお疲れ様でした。



手話奉仕員養成講座受講生・修了生&手話サークルフラワーハンド合同Xmas交流会

平成30年12月20日(木)に、手話奉仕員養成講座受講生・修了生&手話サークルフラワーハンド合同Xmas交流会を開催しました。

本交流会は、今年1年間の手話学習活動を通して一人ひとりの労をねぎらい、また講座受講生とサークル会員の親睦を深めることを目的に行いました。

当日は、八重瀬町手話奉仕員養成講座受講生・修了生、サークル会員等、全46名(大人25名、子ども21名)の参加がありました。本会の金城榮幸会長の手話による挨拶から始まり、参加者の自己紹介と交流会では、「赤鼻のトナカイ」を手話ソングで行った他、講座受講生より余興で「月桃の花」と「ふるさと」の手話ダンスの披露があり、終始にぎやかな会となりました。



(事務局より) 今回、初めての企画となりましたが多くの方の参加があり、また講座受講生とサークルが一堂に集うことができる良い機会になりました。本会では、これからもサークルと協働しながら手話の普及啓発と福祉教育、ボランティア人材の育成に取り組んで参りたいと思います。

【手話サークルよりお知らせ】

手話サークル「フラワーハンド」は随時会員を募集しております。手話に興味がある方、初心者の方も大歓迎です。

お問い合わせ 八重瀬町社会福祉協議会
ボランティア担当 新垣美鈴

～平成30年度手話奉仕員養成講座(基礎編)が閉講しました～

去る2月12日(火)に「平成30年度手話奉仕員養成講座(基礎編)」の閉講式を迎えました。本講座は平成30年7月5日(火)から平成31年2月12日(火)までの全30回コースで開催し、当日は金城榮幸会長より10名の受講生に修了証の交付を行いました。今回、基礎編を修了した受講生は八重瀬町役場と沖縄県身体障害者福祉協会に「手話奉仕員」として登録を行う予定です。

閉講式は、手話サークルフラワーハンド会員や町外の聴覚障害者との交流、受講生による手話劇の披露があり、和やかな雰囲気で行われました。手話劇では、受講生一人ひとりが日々練習を重ね聴覚障害者にしっかりと分かりやすく伝えるように手話や身ぶりを交えて、受講生全員で団結して取り組みました。

受講生の声

- 2年間、楽しく手話を学ぶことが出来ました。今後もサークル活動や奉仕員向け講座に参加して勉強を続けていきたい。
- 手話学習だけでなく、ろう者の生活環境や歴史の学習もありとても勉強になった。
- 予習、復習の大切さ、仲間との絆、大変有意義な時間を過ごさせて頂きました。

受講生の皆さん、平成29年度の「手話奉仕員養成講座(入門編)」から始まり約2年間の長期講座となりましたが、最後まで本当にお疲れ様でした。また、入門編からご指導くださいました我喜屋先生、糸山先生、本当にありがとうございました。

(事務局より)

本会では、受講生が今後も継続して手話を学習し更なる手話技術の習得・向上を目指していただけるようにフォローアップ講座等の開催や手話サークルと連携しながら活動の場を提供できるように支援して参りたいと思います。

平成30年度

「八重瀬町ファミリーサポートセンター会員交流会」を開催しました

去る1月27日(日)、平成30年度「八重瀬町ファミリーサポートセンター会員交流会」を開催しました。交流会は、音楽鑑賞及び手遊びを通してサポート活動時に活用して頂くとともに、会員同士の親睦と融和を図ることで相互の連携を強化することを目的に実施したものです。

当日は会員とその家族60名の参加があり3名の講師(うた:末広朋子氏・當間陶子氏、エレクーン奏者:益井理紗氏)を招いてエレクーン演奏や素晴らしい歌声を聞くことができ、子どもから大人まで一緒に楽しめる交流会になりました。参加者からは「家族で歌ったり踊ったり、とても楽しい思い出になりました。」などの声を頂きました。



平成30年度

第2回赤い羽根共同募金チャリティゴルフ大会

「テーマ型募金:小地域福祉活動支援事業」

去る1月29日(火)に平成30年度第2回赤い羽根共同募金チャリティゴルフ大会を開催いたしました。本大会は様々な福祉ニーズに対し臨機応変に対応できる赤い羽根共同募金運動の趣旨を活かし、複雑化・多様化・深刻化している生活課題を中核的に推進する効果が期待できる小地域福祉活動の財源確保を目的に開催しました。

趣旨にご賛同いただきました皆様に心から感謝申し上げます。

内 訳	金 額	備 考
参加費	442,410円	参加者131名
寄付金	40,000円	4企業
寄付金	1,000円	ワンオン参加費(当日受付)
計	483,410円	



八重瀬町共同募金委員会より

平成30年度赤い羽根共同募金運動の実績は次号社協だより第50号に掲載させていただきます。今後も赤い羽根共同募金運動へのご協力よろしくお願いいたします。

平成30年度 歳末たすけあい運動募金実績



平成30年度歳末たすけあい運動を、12月1日から実施しました。町民のみなさまからいただいた募金は、民生委員・児童委員、区長・自治会長を通じて支援を必要とする世帯が新たな年を迎える時期に、地域で安心して暮らすことができるよう配分され、追加地域福祉に活用されております。

戸別募金 ※一世帯300円					
字・自治会名	実績額	字・自治会名	実績額	字・自治会名	実績額
東風平	138,000円	外間	18,000円	具志頭	98,400円
伊覇	24,300円	友寄	65,700円	新城	76,200円
上田原	14,700円	第一団地	25,200円	後原	67,800円
屋宜原	46,500円	白川ハイツ	30,000円	大頓	18,000円
富盛	96,000円	大倉ハイツ	18,000円	玻名城	38,700円
世名城	67,800円	屋宜原団地	33,600円	安里	49,300円
高良	18,900円	県営外間団地	21,000円	与座	13,200円
志多伯	66,300円	友寄東ハイツ	35,000円	仲座	32,100円
当銘	33,900円	外間高層住宅	20,000円	港川	66,000円
小城	42,300円	県営屋宜原団地	15,000円	長毛	30,000円
宜次	42,000円	県営伊覇団地	5,000円	県営長毛団地	15,000円
				県営大頓団地	7,800円

職域募金	
八重瀬町社会福祉協議会職員	26,500円
琉球銀行	2,986円
沖縄銀行	3,125円

個人大口募金	
嘉数清春	20,000円
匿名	10,000円

平成30年度歳末たすけあい運動募金実績額	
戸別募金	1,389,700円
職域募金	32,611円
個人大口募金	30,000円

平成30年度歳末たすけあい運動募金実施事業	
生活困窮世帯支援事業	
地域コミュニティネットワーク事業(おせち配達)	
障害児者支援事業(車イス購入等)	
福祉活動支援事業(配食ボランティア交流会)…等	

※今年度はこのように使われました。



八重瀬町共同募金委員会より

今年も支援を必要としている世帯が安心して新年を迎えることができました。町民の皆様から心から感謝申し上げます。

また、赤い羽根共同募金運動にご協力いただいている町民・企業等のみなさま今後とも趣旨をご理解いただきご協力の方よろしくお願いたします。

がくせいふく ゆず
学生服譲ってください!

「八重瀬町社会福祉協議会」では、学生服のリユース（再利用）を行っています。

八重瀬町内の中学校の学生服と近隣市町の高校の学生服を、募集いたします。

家で使っていない学生服があれば八重瀬町社会福祉協議会まで！
また、県内各地より様々な思い出と共に本会に届けられた学生服を貰ってくれる方を探しています。

※学生服の種類や数に限りがありますので、本会に問合せの上お越し下さい。

(体育着・ジャージは対象外です)

問合せ：八重瀬町社会福祉協議会
☎：(098)998-4000
(担当：古波津・金城・川武・眞志取・神谷)

ご寄付誠にありがとうございました。



株式会社都市建築設計
代表取締役野原勉氏より
会社設立40周年を記念して
200,000円の寄付がありました。



南部商業高等学校流通
ビジネス科より販売実
習の収益の一部として
86,000円の寄付がありました。

いただいた浄財は地域福祉活動費として有効に活用させていただきます。

寄付

ご芳志誠にありがとうございます。この寄付金は、町内の福祉事業のため有効に活用させていただきます。紙面をかりて衷心より厚くお礼申し上げます。

平成30年12月20日～平成31年2月24日

月 日	寄付者氏名(敬省略)	住 所	金 額	備 考
12月20日	長嶺ヒデ子	宇港川	30,000	故夫 長嶺正信様の香典返しとして
12月20日	吉元清子	南城市	100,000	故母 野原ヨシ様の香典返しとして
12月21日	濱元洋子	宇東風平	23,000	やえせ笑いヨガサークルの収益金として
12月25日	沖縄県個人タクシー事業組合 八重瀬支部支部長 神谷浩喜	宇宜次	30,000	一般寄付として
12月26日	永山清勝	宇当銘	50,000	故母 永山千代様の香典返しとして
12月26日	神谷俊明	宇志多伯	100,000	故母 神谷美津子様の香典返しとして
1月18日	金城栄蔵	宇東風平	50,000	故母 金城清子様の香典返しとして
2月24日	有限会社大宮工機	南風原町	30,000	一般寄付として
	合 計		699,000	

単位:円

この「社協だより」は会費・寄付金・赤い羽根共同募金配分金等で作成されています。